

令和8年度北海道開発局事業概要について

- ・手稲山地区直轄地すべり対策事業
- ・一般国道40号 中川天塩道路

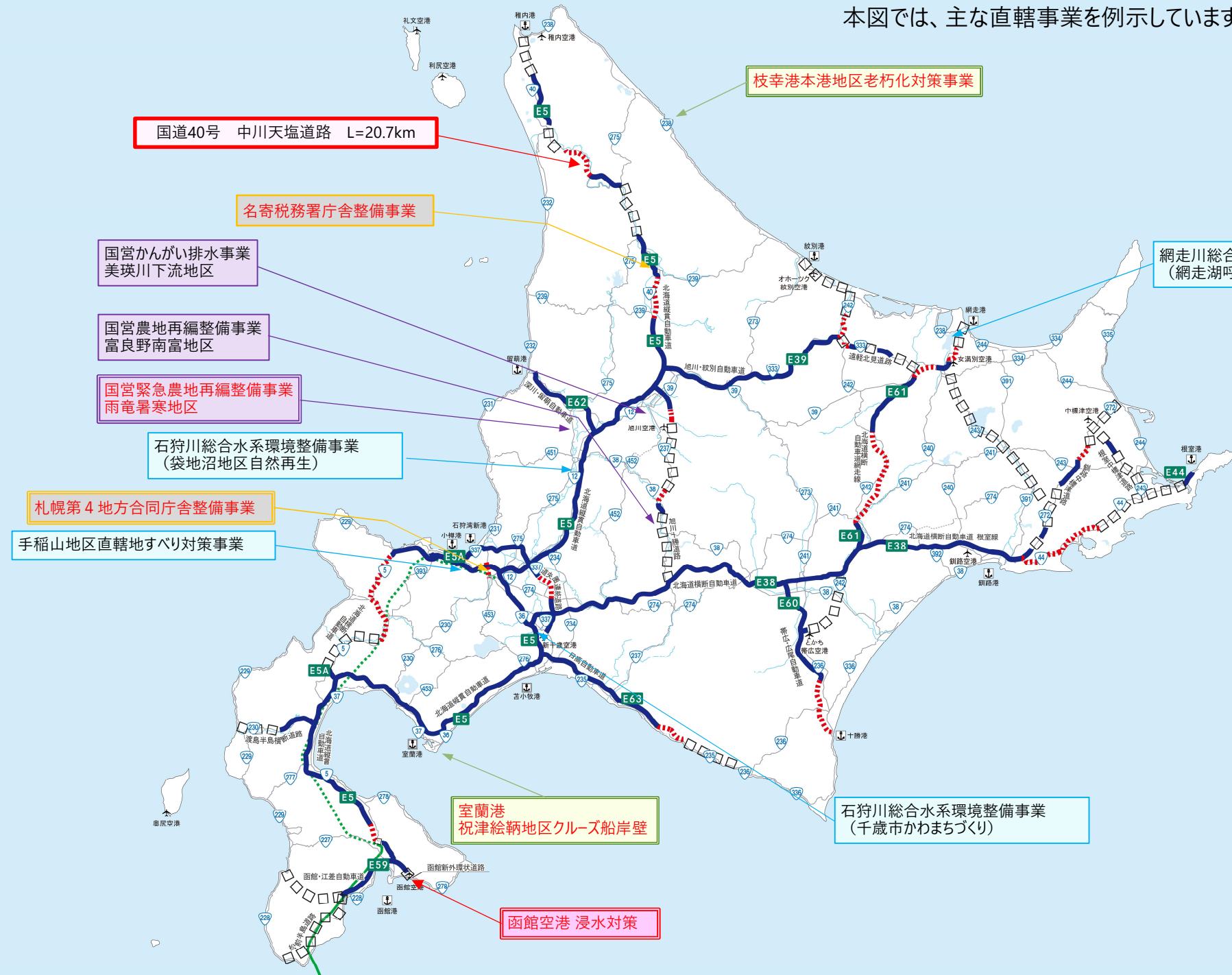
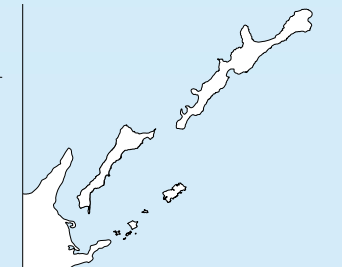
共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画



北海道開発局ホームページへはこちらから。

[参考 1] 令和 8 年度に着手または完成・供用が予定されている主な事業

本図では、主な直轄事業を例示しています。



国道40号 中川天塩道路 L=20.7km

名寄税務署庁舎整備事業

国営かんがい排水事業
美瑛川下流地区

国営農地再編整備事業
富良野南富地区

国営緊急農地再編整備事業
雨竜暑寒地区

石狩川総合水系環境整備事業
(袋地沼地区自然再生)

札幌第4地方合同庁舎整備事業

手稲山地区直轄地すべり対策事業

枝幸港本港地区老朽化対策事業

網走川総合水系環境整備事業
(網走湖呼人地区かわまちづくり)

室蘭港
祝津絵鞆地区クルーズ船岸壁

石狩川総合水系環境整備事業
(千歳市かわまちづくり)

函館空港 浸水対策

着手等の凡例

令和8年度 着手事業 (黒字)	□
令和8年度 完成・供用予定事業 (赤字)	□

凡例

道路事業	□
供用済区間	—
事業中区間	—
調査中区間	□
鉄道事業	□
完成済区間	—
事業中区間	—
空港事業	□
港湾事業	□
都市・公園事業	□
下水道事業	□
河川・砂防事業	□
海岸事業	□
営繕事業	□
農業事業	□
漁港事業	□
官庁営繕事業	□

手稲山地区直轄地すべり対策事業 (R8年度新規)

- 手稲山地区は、北海道の中心都市である札幌市に位置し、山麓には手稲市街地及び重要な交通網（札幌自動車道・国道5号・JR函館本線）が集中している。
大規模な地すべりが発生すると、手稲市街地への被害に加え、幹線交通が分断され、地域防災や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、令和8年度から地すべり対策事業に新規着手する。



保全対象との位置関係
地理院地図3Dに加筆

事業内容

- ・ 令和8年度当初予算実施内容：調査検討、ボーリング等

早期効果発現への取組

手稲山地区には多数の地すべりブロックが分布しており、大規模な地すべり防止対策が必要となる可能性がある。このため、ブロックごとに対策の優先度を設定し、地すべり対策事業を推進することで、早期の事業効果発現を図る。

関係機関との連携

地すべり防止工事と並行して、北海道・札幌市と連携し、地域住民への情報提供等のソフト対策を含めたハード・ソフト一体の総合的な取組を進める。

主な対策工（イメージ）

抑制工

集水井工

井戸と集水ボーリングによって深い位置の地下水を排除する

横ボーリング工

地中に設置したパイプによって比較的浅い位置の地下水を排除する

抑止工

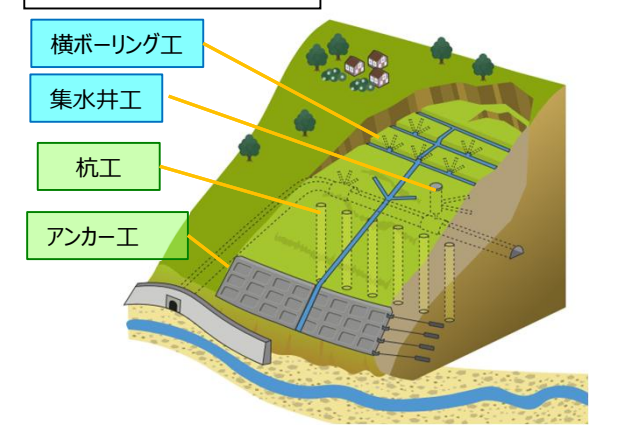
杭工

杭を地すべり面より下部に届くように打ち込み、地すべり面の抵抗を強める

アンカー工

鋼線等を地すべり面より下部に届くように定着緊張し、地すべり面の抵抗を強める

対策工イメージ図



一般国道40号（北海道縦貫自動車）中川天塩道路（令和8年度新規）

- 中川天塩道路は、中川郡中川町字誉から天塩郡天塩町字オヌプナイに至る延長20.7kmの北海道縦貫自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路であり、並行する国道40号には事故危険区間、地吹雪発生箇所、洪水浸水区域などが存在している。
- 中川天塩道路の整備により、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセスが向上し、道北地域における農水産業等の産業振興や救急搬送などの医療活動を支援すると共に、災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能す信頼性の高い道路ネットワークを形成する。



- ## 事業内容

 - ・令和8年度当初配分額(事業費): 1億円
 - ・令和8年度当初予算実施内容: 測量、ボーリング等

整備効果

- ①速達性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援
 - 事故危険区間 2区間 → 0区間
 - 狭小トンネル・狭小橋梁 4箇所 → 0箇所
 - 狭小幅員区間 17.1km → 0.0km
 - ②高次医療施設への速達成向上による医療サービスレベルの向上を支援
 - 稚内市立病院～名寄市高次医療施設搬送時間 約4分短縮
 - ③災害リスクの回避により災害発生時の道路機能を確保
 - 地吹雪発生区間 13区間 → 0区間
 - 洪水浸水想定区域 9.1km → 0.0km
- ## 政策目標

 - ①地域の農水産業を支える輸送経路の速達性・安定性・安全性の向上
 - ②地域の暮らしを支える高次救急医療機関への速達性・安定性の向上
 - ③災害発生時の避難・復旧活動を支える道路の機能確保